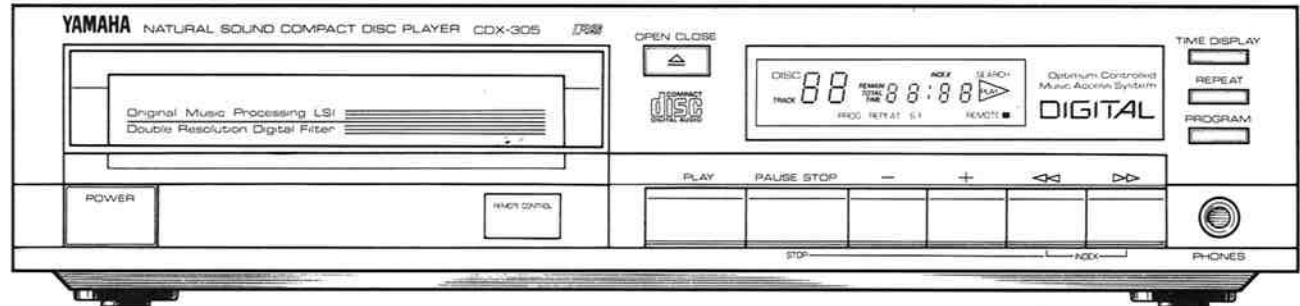


CDX-305

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤー CDX-305をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CDX-305の優れた性能を十分に発揮させるとともに、長年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書を、ご使用前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

特長

本機はCD（コンパクトディスク）の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、ヤマハ最新のCDプレーヤー技術を結集して開発されました。

周波数特性5~20,000Hz、ダイナミックレンジ96dB以上、高調波歪率0.003% (1kHz)、SN比100dB以上という電気特性とワウフラッターは測定限界以下という機械的特性に裏付けされた精緻な音質を実現しました。

● 先進のテクノロジーを満載

ヤマハの新開発CD専用LSIにより、本機は高度な信号処理回路を極めてコンパクトな形で実現し、デジタルフィルターをも、信号処理LSI組み込むことができました。またデジタル回路の大半をもLSI化したため、本体の小型化とともに、少数部品で高い信頼性を確保しました。

● マイコン搭載による多彩な演奏

マイクロコンピューター搭載により、ランダムプログラム演奏、リピート演奏(全曲、一曲、プログラム)、オート演奏を始めインデックス演奏など、コンパクトディスクに収められている情報を最大限に生かした、多彩な演奏がシンプルなキーオペレーションで可能となりました。

● 演奏状態を常に確認できるFLディスプレイ

演奏中の曲番、プログラム曲番、演奏経過時間、録音の際に便利な残量時間などを分秒単位でデジタル表示。また、プログラム演奏、リピート演奏などの各演奏モードも常にインジケーターが表示していますので、確認が容易です。

● リスニングルームで威力を発揮するリモコンユニットを標準装備

付属のリモコンユニットを使用すれば、離れたところから基本操作のほとんどに加え、10キーを使ったスピーディな選曲をすることができます。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
接続のしかた	3
付属品の確認	3
コンパクトディスクの取り扱い	4
各部の名称とはたらき	5
基本的な演奏	8
選曲のしかた	10
プログラム演奏	11
インデックス演奏	14
リピート演奏	15
リモコン演奏	16
タイマー演奏	17
故障かなと思ったら	17
参考仕様	18
ヤマハホットラインサービスネットワーク	19

豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



ほこり・水気をさけて！

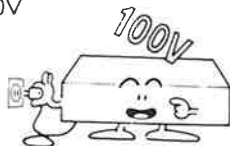


不安定な場所をさけて！



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

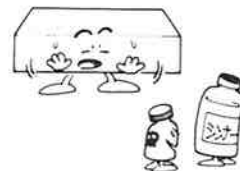


雷が近づいたら

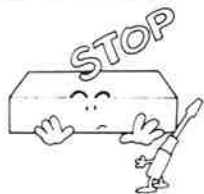


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

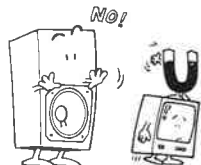


セットの通風孔をふさがない

放熱を妨げないため、セットの通風孔に敷き物や、レコードなどを絶対に置かないでください。



磁気・テレビはさけて！



こわれた？



17ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

取扱説明書はかならず保管してください。

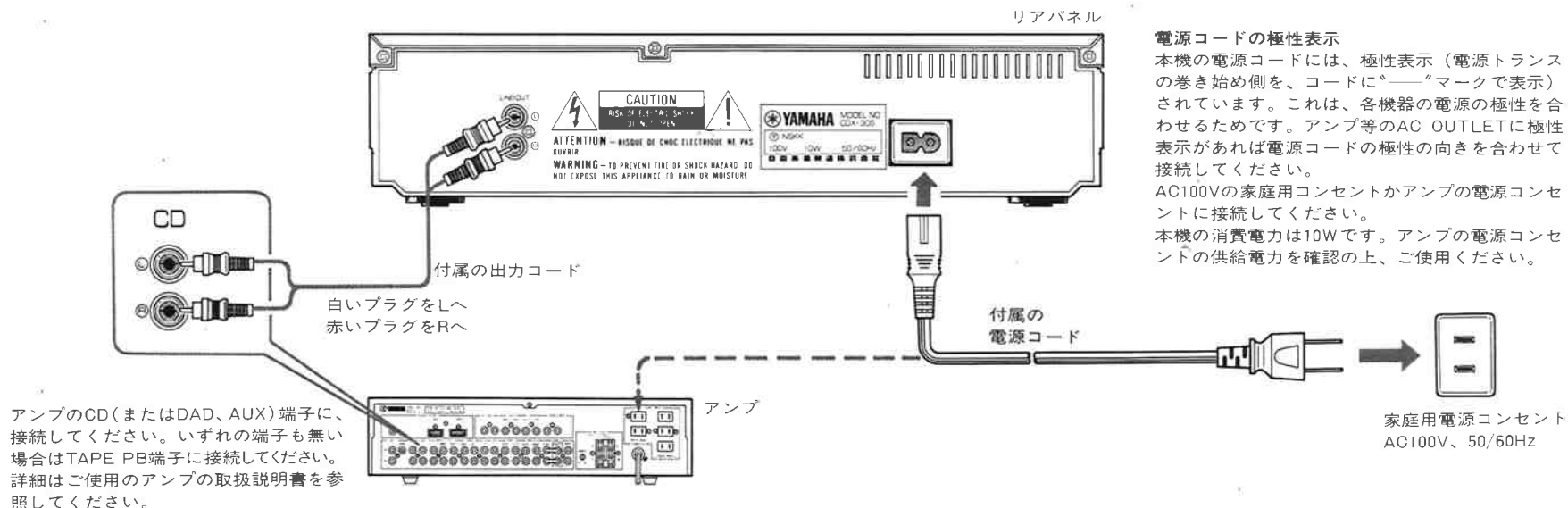


ファイルなど

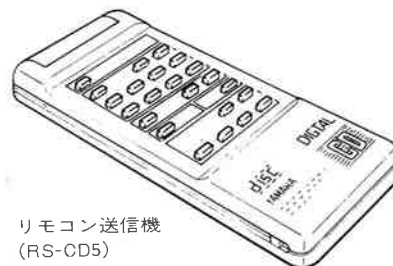
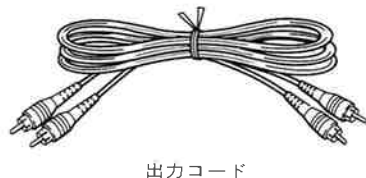
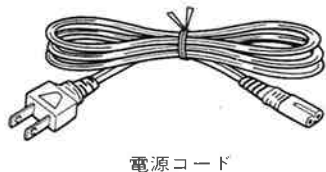
接続のしかた

- 本機を設置する際は、振動のないしっかりとした場所を選んでください。また、アンプなど熱を発生するものの上には置かないでください。
- 接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して、正しく接続してください。

- 付属の電源コードのプラグをリアパネルの電源端子に向きを合わせて、しっかりと差し込んでください。
- 本機がチューナーなどの他の機器に妨害を与えるようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離してください。



付属品を確認してください。



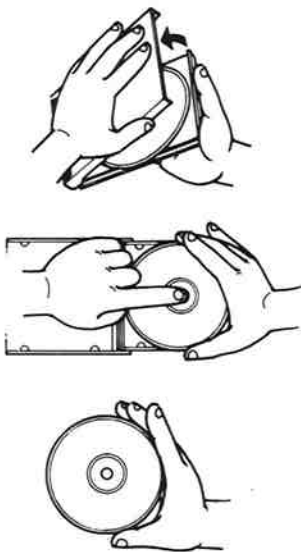
コンパクトディスクの取り扱い



本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

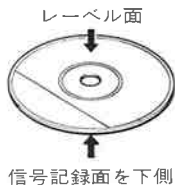
ケースからの取り出し方

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。
2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ちあげます。
3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

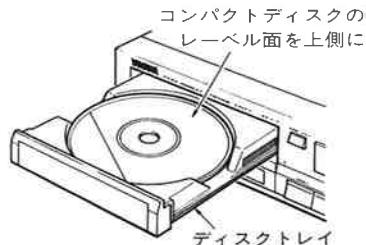


ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)



- 市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



取り扱ひの注意

- 信号記録面に指紋やほりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほりやよごれは、音質にはまったく影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



- 曲げたりしないでください。



- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



- 演奏を終ったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



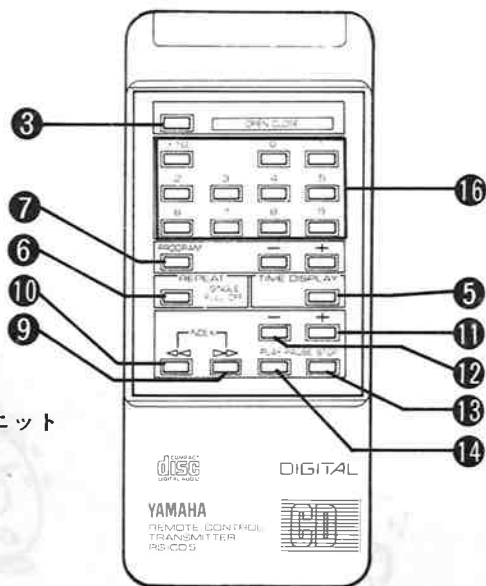
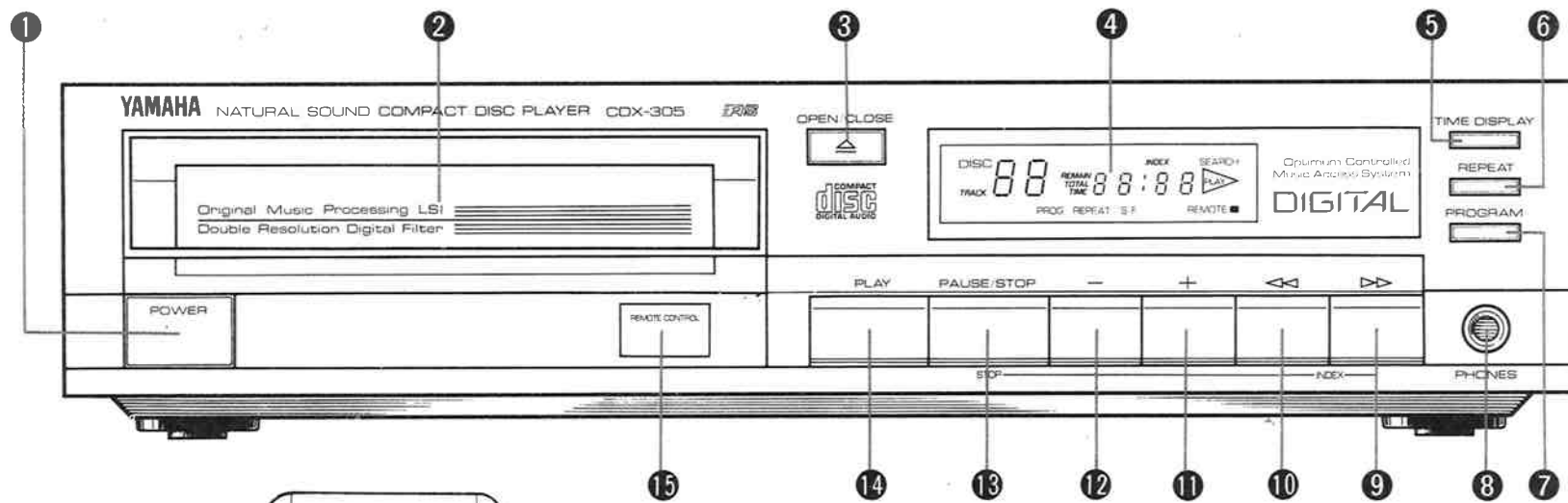
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



- 直射日光が当る場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



各部の名称とはたらき



リモコンユニット
RS-CD5

① POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。

② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。OPEN / CLOSEキー③を押すと開き、もう一度押すと閉まります。

ディスクトレイは手で軽く押しても、あるいはPLAYキー⑭を押しても閉じることができます。

※電源がONの状態であれば、ディスクトレイの開閉はできません。

③ OPEN / CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。一度押すと開き、もう一度押すと閉じます。

④ ディスプレイ

演奏時間や演奏モードを表示します。

ディスク DISCインジケータ

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクトレイにディスクがセットされているときは、このインジケータが点灯します。

※ディスクをセットしてもこのインジケータが点灯しない場合は、ディスクが裏返しになっていないか、お確かめください。

トラック 曲番 (TRACK) 表示

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。

ディスクをセットしてディスクトレイを閉じますと、約3秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

トラック TRACK

電源ONで点灯します。

プログラム PROGインジケータ

PROGRAMキーを押し、プログラム指定や演奏状態になると点滅または点灯します。

リピート REPEATインジケータ

リピート演奏の種類がS (Single: 一曲) または F (Full: 全曲) を表示します。

トータル / リメイン TOTAL / REMAINインジケータ

TIME DISPLAYスイッチを押すごとに、時間表示がTIME (演奏経過時間)、REMAIN TIME (残り時間)、TOTAL TIME (総演奏時間) に変わり、各々のインジケータが点灯します。

時間表示

演奏経過時間、残り時間、総演奏時間を表示します。

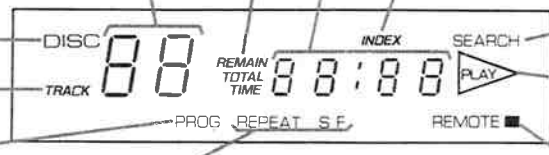
ディスクをセットしてディスクトレイを閉じますと、約3秒間、そのディスクの収録している総演奏時間を表示します。また、インデックス番号やプログラム番号も表示します。

インデックス INDEXインジケータ

インデックス演奏の指定時はこのインジケータが点灯します。

サーチ SEARCHインジケータ

レーザーピックアップが曲をサーチ (検索) しているときに点灯します。



プレイ PLAYインジケータ

演奏中は点灯し、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

リモート REMOTEインジケータ

付属のリモコンユニットからの信号を受光すると点灯します。

⑤ TIME DISPLAYキー

時間表示のモードを切り替えるキーです。

TIME (演奏経過時間) 表示中に一度キーを押すと、表示はREMAIN TIME (残り時間) に変わり、もう一度押すとTOTAL TIME (総演奏時間) 表示に変わります。さらに押しますと演奏経過時間表示に戻ります。

⑥ REPEATキー

リピート演奏をするときに押します。一度押しますと一曲リピート、もう一度押しますと全曲リピートになります。さらに押しますと解除されます。


⑦ PROGRAMキー

プログラム演奏をセットするときやチェックするときに使います。(→P11「プログラム演奏」)

⑧ PHONESジャック

ヘッドホンはこのジャックに接続しますと、アンプの操作をせずに演奏をモニターすることができます。

夜間やお一人でCD演奏を楽しむときなどに活用ください。

9 ^{早送り}  キー

演奏を早送りさせるキーです。

演奏時 : 音出し早送り

ポーズ時 : 音無し早送り

ストップ時: インデックス番号の指定ができます。

※押し続けると高速で早送りします。

10 ^{早戻し}  キー


演奏を早戻しさせるキーです。

演奏時 : 音出し早戻し

ポーズ時 : 音無し早戻し

ストップ時: インデックス番号の指定ができます。

※押し続けると高速で早戻しします。

11 ^{プラス}  キー


一曲ずつ次の曲の頭に進めるキーです。

演奏時 : 次の曲の頭から演奏

ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ

ストップ時: 次の曲の頭で演奏待機

※押し続けると連続的に変化します。

12 ^{マイナス}  キー

演奏またはポーズしている曲の頭に戻すキーです。

曲の頭でポーズしている場合は、前の曲の頭に戻ります。

演奏時 : その曲の頭から演奏

ポーズ時 : その曲の頭でポーズ

ストップ時: 変化しません

※押し続けると連続的に変化します。

13 ^{ポーズ}/^{ストップ}  キー

演奏中にこのキーを一度押しますと、その箇所でポーズ（一時停止）し、もう一度押すとストップ（ディスクの1曲目の頭に戻り停止）します。


14 ^{プレイ}  キー

演奏をスタートさせるキーです。

15 ^{リモート} ^{コントロール}  REMOTE CONTROL受光窓

リモコンユニットからの信号（赤外線）を受光する窓です。正しく受光しますと、REMOTE CONTROLのインジケーターが点灯します。

リモコンユニットRS-CD5

16 ^{ナン}  10キー

1から0までそして+10の数字キーです。演奏曲番をダイレクトに指定することができます。

- リモコンユニットのその他のキーは本体のキーと同様の機能を持っています。

基本的な演奏

●リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- コンパクトディスクは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に巨大音量となることがありますので、事前にアンプのボリュームの位置にご注意ください。

1 POWERスイッチを押し、電源を入れます。

- POWERスイッチのON/OFFを極端に早く繰り返しますと、内部動作が正しく行われなことがあります。

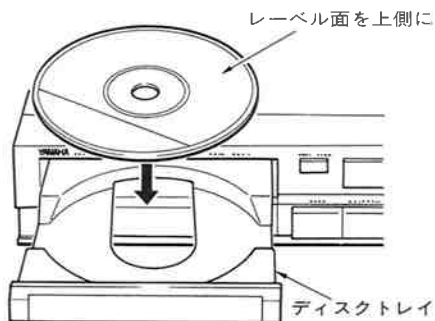


2 OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開けます。

- ディスクトレイが開いている状態では、OPEN/CLOSEキー、PLAYキーのほかにも、+、-キーの操作、インデックス番号の指定およびリモコンユニットによる演奏曲番の指定が可能です。

3 ディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。(→P4の“コンパクトディスクの取り扱い”をご参照ください。

※レーベル面の反対側が音の記録面です。(ディスクの記録面は片面だけです)



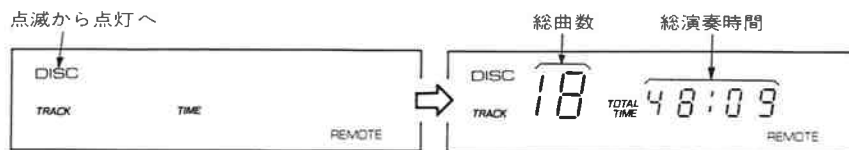
4 OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが閉まり、本機がディスクの収められている情報を読み込む数秒間、DISCインジケータが点滅、その後点灯に変わります。

ディスプレイはそのディスクに収められている総曲数と総演奏時間を約3秒間表示した後、ストップ状態になります。

- ディスクをセットしてもDISCインジケータが点滅後消灯し、曲番0を表示するときは、ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

▶例 総曲数18曲、総演奏時間48分9秒



約3秒後 ↓



ディスクトレイの閉めかたには、3通りあります。

- ・OPEN/CLOSEキーを押す。
- ・PLAYキーを押す。
- ・ディスクトレイを軽く押す。

ご注意

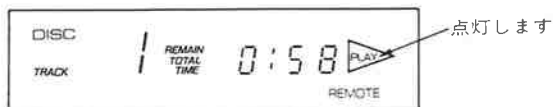
- ディスクトレイに不要物などを入れると故障の原因になります。
- ディスクトレイが動作している間は、手で無理に開閉しないでください。
- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまましばらく(約数10分)待ってから操作してください。

5

PLAYキーを押します。

PLAYインジケータが点灯し、演奏がスタートします。ディスプレイはその曲の演奏経過時間を分秒で表示します。

▶ 例 演奏スタート後58秒経過



- ディスクにキズなどがありますと、演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏することがあります。
- 偏芯したり、反ったディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。

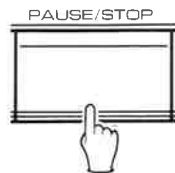
6

1曲目から最後の曲まで連続して演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示し、最終曲まで演奏すると自動的にストップ状態になります。

演奏を一時停止させるときは

PAUSE/STOPキーを1回押します。

キーを押したところでポーズ（一時停止）し、PLAYインジケータが点滅します。演奏を再び始めるには、PLAYキーを押してください。



▶ 例 8曲目を演奏中、8分33秒でポーズ



演奏をストップさせるには

PAUSE/STOPキーを2回押します。

PLAYインジケータが消え、演奏がストップします。ピックアップは1曲目の頭に戻ります。

ディスクをとりだすには

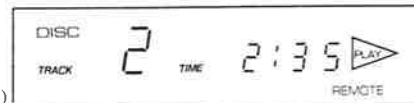
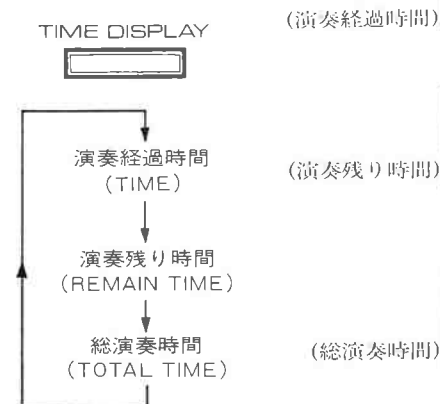
OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが出てきます。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

- OPEN/CLOSEキーはPOWERスイッチ以外のすべてのキー機能に優先します。例えば演奏中でもこのキーを押せば、演奏がストップしディスクを取り出すことができます。このような場合にも、本体、ディスクには何らの支障ありません。

ディスプレイについて

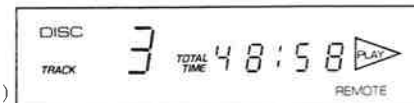
TIME DISPLAYキーを押すごとに、表示内容が切り変わります。



▶ 例 2曲目の演奏中、2分35秒経過



▶ 例 2曲目を演奏中、演奏終了まであと36分2秒



▶ 例 3曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は48分58秒

選曲のしかた

◆リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- “+” “-” キー、リモコンの10キーを使って、簡単にお好みの曲を選曲することができます。

演奏を開始する前、および演奏中の選曲

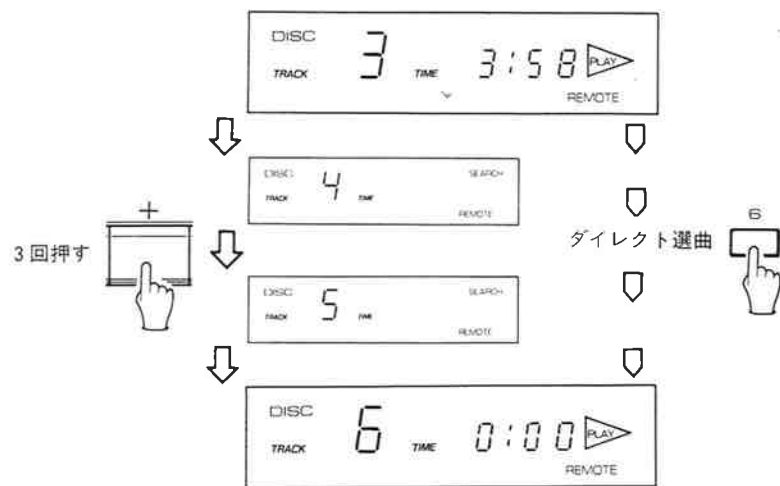
+ キー……押すごとに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続的に変化し、最終曲番で止まります。

- キー……押すごとに前の曲の頭に戻ります。(演奏中はその曲の頭にまず戻ります) 押し続けると曲番1まで連続的に変化します。

10 キー……ダイレクトに選曲することができます。演奏させたい曲番を押し(リモコンのみ)ます。

- ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定した場合には、自動的に最終曲番に表示が変わります。

▶ 例 曲番3を演奏中に、曲番6を演奏するとき



- 演奏中に選曲した場合は、選曲後にその曲を自動的に演奏します。
- ポーズ中に選曲した場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態となります。

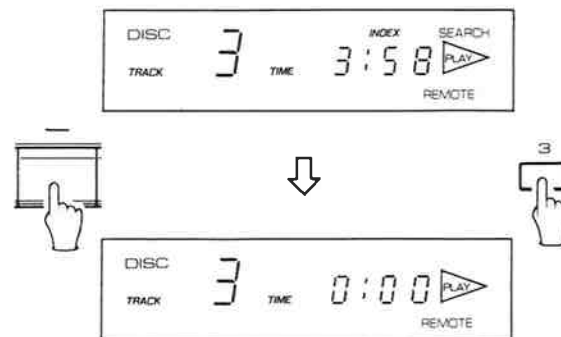
演奏中の曲の頭に戻るとき

- キー…… “-” キーを1回押します。

10 キー……演奏している曲の曲番を押します。

(リモコンのみ)

▶ 例 曲番3を演奏中に、曲番3の頭から演奏し直すとき



早送りと早戻し

- 演奏中またはポーズ中に “<<” “>>” キーを使って、早送り・早戻し(サーチ)をすることができます。

■ 演奏中(音出しサーチ)

“<<” または “>>” キーを押し続けると、始めの約3秒間は中速で、その後は高速で早送り・早戻しします。キーを押している間は、再生音を小さな音(約 $\frac{1}{4}$)で聴くことができます。指を離れたところから演奏を再開します。

※ “>>” キーを押し続けて、最終曲の終わりまでサーチしますと、ストップ状態になります。

■ ポーズ中(音無しサーチ)

“<<” または “>>” キーを押し早送り・早戻しができますが、ポーズ中は音がでません。

■ ストップ状態のとき

インデックス指定モードになります。(→P14「インデックス演奏」)

プログラム演奏

10キーの操作について

●曲番を訂正するには……

10キーを押し間違えた場合には、新たに正しい希望の番号を押しておいてください。“+10”キーを押したあと、すぐに訂正する時は、一度PLAYキーを押してから新たに希望の番号を押してください。

●2桁の曲番を選曲するときは……

まず10キーの“+10”キーを押してから、1桁の番号を押します。

▶例 曲番15を選曲するとき

+10 keyでは1の位は、—表示
(次に0を押したときのみ10表示となります)

1

5

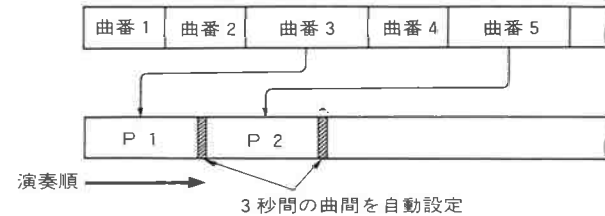
2

※指定した曲番が最終曲をこえる場合は、最終曲を演奏します。

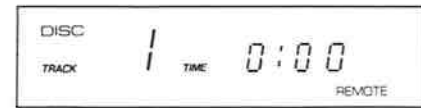
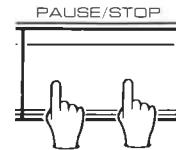
- ディスクに収録されている曲の中から、好みの曲を選び順番を並べ変えて（ランダム）演奏することができます。
- 最大16曲までプログラムすることができます。
- プログラム演奏は3秒間の曲間が自動的に設定されますので、カセットテープなどへのダビングの際に便利です。

プログラムのセットのしかた

▶例 次のようなプログラムは……



- 1 PAUSE/STOPキーを2回押しストップ状態にします。



ストップ状態

- 2 PROGRAMキーを押します。
ディスプレイにP 1 (プログラム1) の表示が出、PROGインジケーターが点滅、プログラムのセットが可能であることを示します。



点滅

リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

3 “+”、“-”キーを使って好みの曲番をセットします。

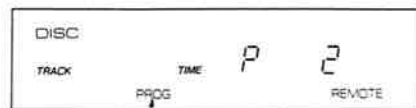
※10キーでのプログラムセットはできません。



点減

4 再びPROGRAMキーを押します。ディスプレイはP 2 (プログラム 2) に変わり、P 1 へのプログラムセットが完了したことを示します。

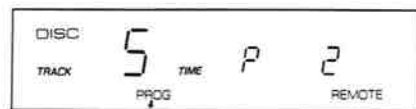
PROGRAM



点減

5 P 2 へのプログラムセットです。好みの曲番をセットします。

●“+”、“-”キーによる曲番指定は、前の曲番から“+”、“-”指定となります。

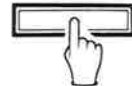


点減

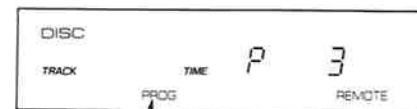
6 プログラムセッティングを終える場合、PROGRAMキーを2度続けて押します。

- このように交互に、PROGRAMキーを押して曲番を指定することにより最大16曲までプログラムすることができます。
- 16曲までセットしますと、自動的にP 1に戻り、演奏スタンバイ状態となります。
- PROGRAMキーを押し続けてもセッティングを完了することができます。

PROGRAM



1回目



点減



PROGRAM



2回目
(セッティング完了)



点灯する

TIME DISPLAYキーを押し、TOTAL TIME表示にしますとプログラムの総演奏時間が表示されますのでカセットテープなどに録音する際に、活用ください。

プログラムの演奏のしかた

1 PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し曲番3、曲番5、の順で演奏がスタートします。ディスプレイは演奏経過時間を表示します。

2 プログラムの演奏が終了しますと、自動的にP 1に戻りスタンバイ状態になります。

プログラム演奏を止めるには

●ポーズ

PAUSE/STOPキーを1回押します。PLAYインジケーターが点滅し、ポーズ状態になります。

演奏を再開するときは、PLAYキーを押します。

●ストップ

PAUSE/STOPキーを2回押します。PLAYインジケーターが消灯し、P 1に戻ります。

プログラム演奏中の選曲操作

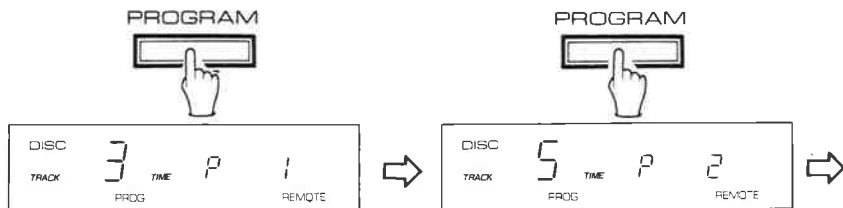
プログラム演奏中に「+」または「-」キーを押しますと、プログラムされている順番で前後の頭出しができます。さらにリモコンユニットの10キーを使いますと、プログラムされていない曲の選曲も可能となります。

プログラム演奏中の早送り、早戻し

「<<」または「>>」キーを押しますと、プログラムに関係なく、早送り、早戻しができます。

プログラム内容のチェック

ストップ状態にしてPROGRAMキーを押せば、キーを押すごとにプログラムされた曲番が表示されます。

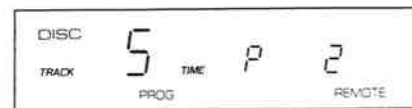


プログラムの変更

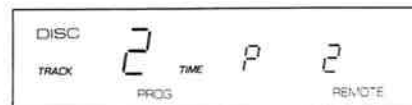
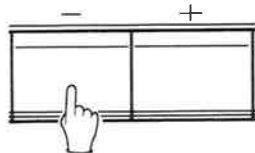
変更したいプログラム番号をPROGRAMキーでディスプレイに表示させます。プログラムのセットと同様の方法でそのプログラムの上にセットしなおします。前のプログラムは消え、新しいプログラムに変わります。

▶例 プログラム2を曲番5から曲番2に変更するときは、

PROGRAMキーを押しP 2、曲番5を呼びだします。



次に、「-」キーを3度押し、曲番2に変更します。これで完了です。



プログラムの解除

OPEN/CLOSEキーによるディスクトレイを開閉するか、あるいは電源を切りますと、すべてのプログラムを解除することができます。

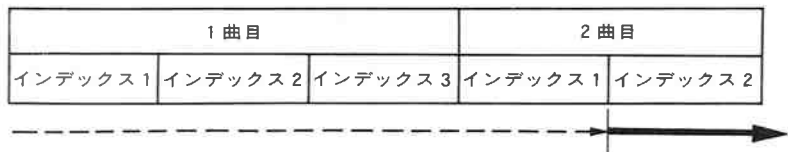
- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラムの総演奏時間が99分59秒を越えた場合のTOTAL TIMEとREMAIN TIMEは100分代の数字を除いた表示をします。
- プログラム演奏で曲番が20以上の曲をプログラムしたときは、REMAIN TIME、TOTAL TIMEは表示されません。

インデックス (IN:DEX) 演奏

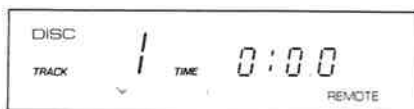
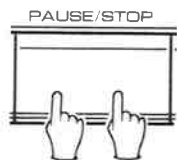
●リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

インデックス番号（クラシック曲の第何楽章など）が設定されているディスクの場合は、“◀◀”、“▶▶”キーで好みのインデックスから演奏をスタートさせることができます。インデックス番号については、ディスクの説明書をご参照ください。

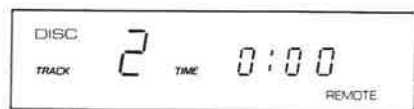
▶例 2曲目のインデックス2から演奏するときは



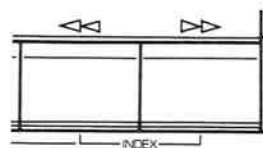
- 1 PAUSE/STOPキーを2回押し、ストップ状態にします。
ストップ状態のときのみインデックスの指定をすることができます。演奏中やポーズ中には指定することはできません。



- 2 “+”、“-”キーまたはリモコンの10キーで曲番を選びます。



- 3 “▶▶”キーを押しますとINDEXインジケータとインデックス番号が点灯します。“▶▶”キーを押すごとにインデックス番号は進み、“◀◀”を押すごとに番号が戻ります。この場合“▶▶”キーを2回押します。



- 4 PLAYキーを押します。
PLAYインジケータが点灯し、指定したインデックスから演奏がスタートします。



- ディスクに記載されているインデックス番号より大きな数を指定した場合、最終インデックス番号より演奏します。
- インデックス指定はPAUSE/STOPキーを押せば解除されます。
- インデックス演奏のときは、曲の少し前から再生することがあります。
- インデックスの頭出しは、PLAYキーを押して演奏を始めますと自動的に、インデックスは解除されINDEXインジケータも消えます。
- インデックス番号の記録されていないディスクの場合、インデックス番号1を表示してから演奏が始まります。
- インデックスの頭出しには、多少時間がかかることがあります。
- タイマー演奏をする際に、インデックス演奏は出来ません。

リピート演奏

●リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- REPEATキーを使いますと、ディスクの中のお好みの1曲、またはディスクの全曲をリピート（繰り返し）演奏することができます。
- プログラムをしますと、任意数曲のリピート演奏をすることができます。
- REPEATキーは押すごとに、S（シングル：一曲）、F（フル：全曲）に変わります。



- リピート演奏は、演奏中、ポーズ中、プログラム演奏中、スタンバイ中の何れの状態でも指定することができます。

一曲リピート

1 "+"、"-"キーまたは10キーを使ってリピートさせたい曲番を選びます。

2 REPEATキーを一回押します。REPEAT S インジケーターが点灯します。



3 PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し、リピート演奏がスタートします。

例 3曲目をリピート演奏中



点灯

全曲リピート

1 REPEATキーを2回押します。REPEAT F インジケーターが点灯します。

2 PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し全曲リピート演奏がスタートします。

プログラムのリピート演奏

1 11ページの「プログラム演奏」を参照して、お好きな曲をプログラムします。

2 REPEATキーを押し、REPEAT F のインジケーターを点灯させます。プログラムの全曲を、その順序でリピート演奏します。

- REPEAT S では、プログラムに関係なく、演奏中の曲の一曲リピートになります。

リピート演奏の解除

リピート演奏を解除する場合は、REPEATキーを押しREPEAT S または F のインジケーターを消灯させてください。

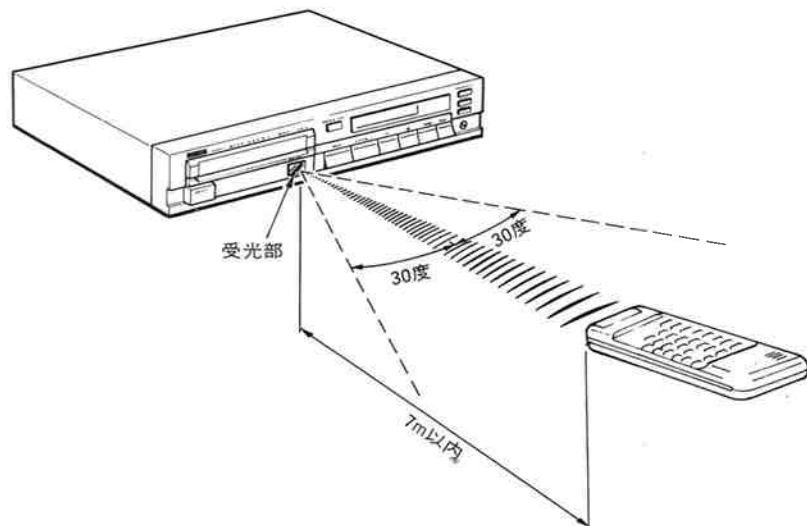
また、ディスクトレイを開閉したり、電源スイッチを切りますと、リピートは解除されます。

- タイマー演奏をする際にリピート演奏の指定はできません。

リモコン演奏

付属のリモコンユニットRS-CD5をご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

なお、信号光は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光部との角度にご注意ください。

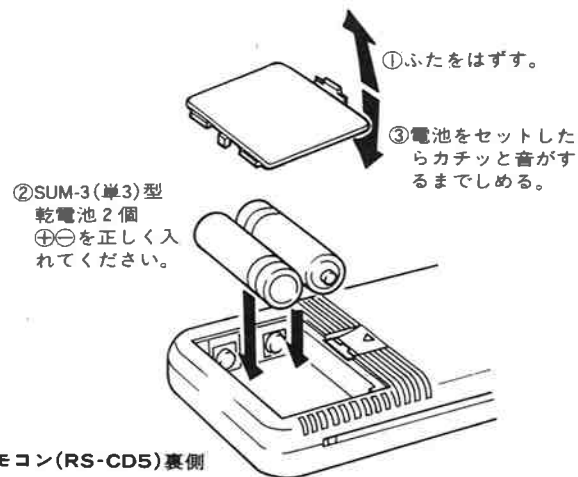


このインジケターが点灯するように

電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。電池がまったく消耗すると、ボタンを押しても受信シグナルがつかなくなります。

●電池の交換は



- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状で性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

タイマー演奏

別売のオーディオタイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができ、お好みのディスクで目覚まし再生を行なうことができます。

- ①本機の電源プラグをアンプのリアパネルのコンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてディスクを正しくセットします。
- ④アンプの電源スイッチを入れてINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調節します。

⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。

(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

※タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。
以上でタイマーにセットした時刻がくると自動的にディスクの第一曲目から演奏が始まります。

※プログラム演奏、リピート演奏はできません。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電機音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグを本体側、コンセント側ともしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください。
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	受信シグナルが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	5~20kHz ± 0.5 dB -1.0 dB
ディエンファシス偏差	± 0.5 dB -1.0 dB
高調波ひずみ+雑音	0.004%以下1kHz(EIAJ)
SN比	100dB
ダイナミックレンジ	95dB(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	85dB(1kHz)
出力電圧	2Vr.m.s.
出力インピーダンス	2k Ω
ヘッドホン出力電圧(8 Ω 負荷)	150mV

■方式

光ピックアップ	3ビーム・レーザー
エラー訂正方式	CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換	16ビットリニア
フィルター	デジタルフィルター+3次 アクティブフィルター
ディスプレイ	蛍光表示管

■機能

頭出し	"+"・"-"キーによる順次頭出し (リモコンのみ10キーによる頭出し)
インデックスサーチ	ストップ時のみインデックス指定可能 "<<"・">>"キーによる指定 プレイキーでインデックスサーチ
音出しサーチ(演奏時)	"<<"・">>"キーによるサーチ 2段階スピード自動切替

ポーズ	ポーズ/ストップキーを1回押す
ストップ	ポーズ/ストップキーを2回押す
総演奏時間表示	TIME DISPLAYキーにて
演奏残り時間表示	//
プログラム機能	16曲ランダム 再生時、曲間3秒以上のスペース (スペースプレイ機能) 合計時間表示機能
リピート	1曲、全曲またはプログラム全部のリピート
オートプレイ	ディスク装着時パワーONでオートプレイ
リモコン	OPEN/CLOSE、+10、0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、 -、+、PLAY、<<、>>、PAUSE/STOP

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
外形寸法(W×H×D)	340×80×290(mm)
重量	3kg
付属品	電源コード、リモコンユニット、単三乾電池2本、出力コード

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機を移動させるときは

引越しなどで輸送するときは、ディスクがディスクトレイにないことを確認し、トレイが閉じてから数秒のちに電源を切ってから移動してください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(0222)36-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(0252)43-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中西区中川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 ステレオ北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F ステレオ仙台営業所 TEL(0222)23-1376
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F ステレオ首都圏営業所 TEL(03)255-5691 ステレオ神田営業所 TEL(03)255-6767 ステレオ北関東営業所 TEL(03)255-1825 ステレオ東京営業所 TEL(03)255-2302
名古屋	〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 ステレオ名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 ステレオ関西営業所 TEL(06)647-6411 ステレオ大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 ステレオ中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 ステレオ九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ステレオ事業部 国内営業部 TEL(0534)60-3421

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

ステレオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421

管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。